

2017年3月期 第3四半期 決算説明会

インフォテリア株式会社

2017年2月14日



JPX

TOKYO STOCK EXCHANGE

3853

会社概要

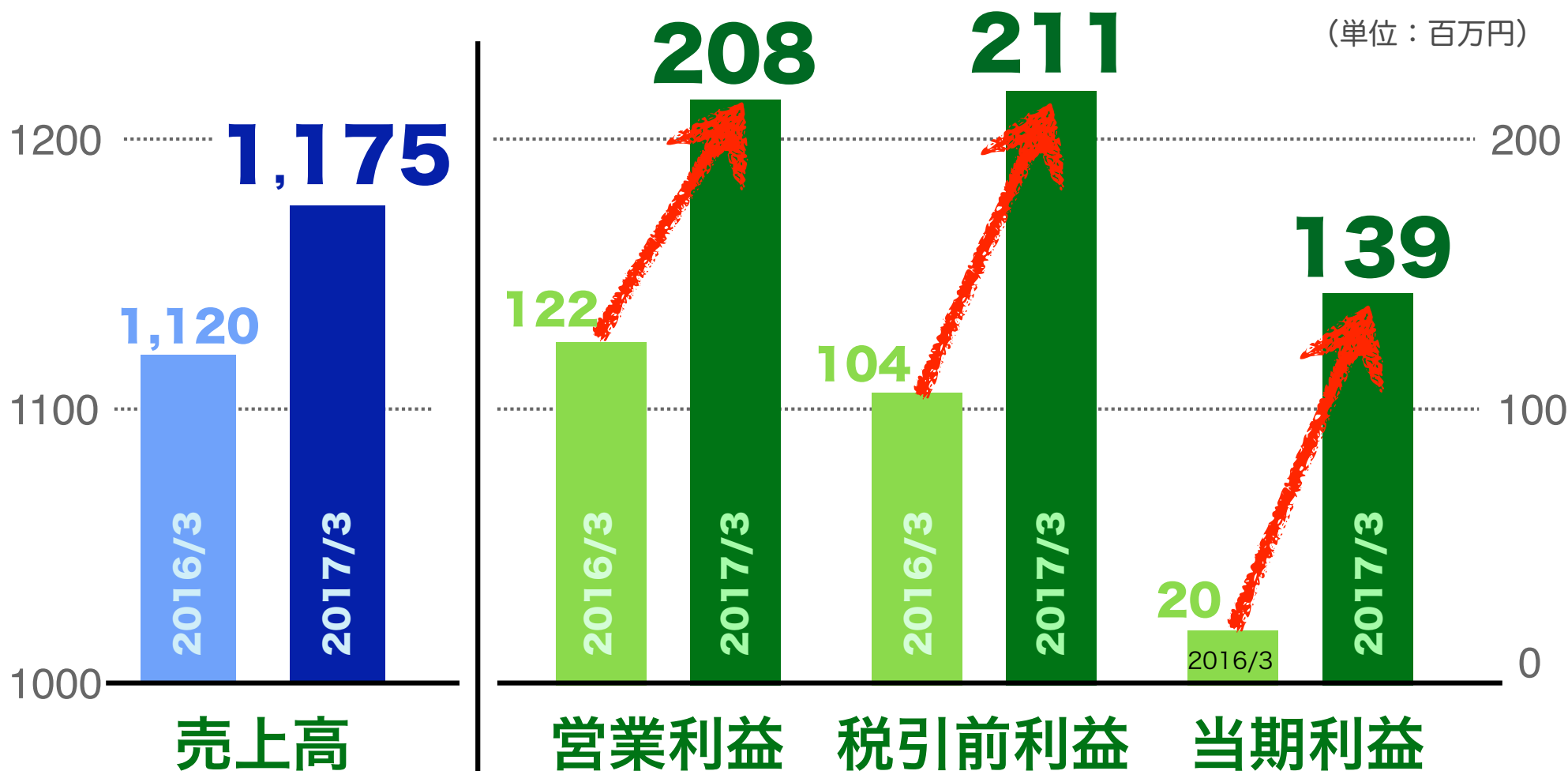
会社名	インフォテリア株式会社
主な事業	ソフトウェア製品の開発・販売（ 受託開発ゼロ ）
設立	1998年9月
上場年月	2007年6月（東証マザーズ：3853）
代表者名	代表取締役 執行役員社長 平野 洋一郎
決算期	3月
資本金	11億3,846万円
所在地	東京都品川区大井1丁目47番1号
グループ会社	海外5社 米国カリフォルニア州、中国上海市、 中国杭州市、香港、シンガポール
従業員数	72名（連結） - 2016年12月31日現在
ビジョン	組織を越えたコンピューティングを実現するソフトウェアを 開発し世界規模で提供する
企業理念	発想と挑戦／世界的視野／幸せの連鎖

決算ハイライト

**2017年3月期 第3四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)**

増収と 大幅な増益

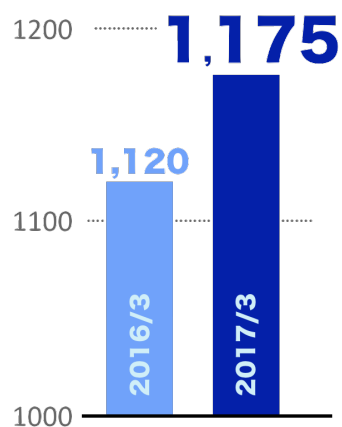
- ✓ 売上高： 前年同期比: **4.8%増**
- ✓ 営業利益： 前年同期比: **71.5%増**
- ✓ 当期利益： 前年同期比: **599.6%増** (約7倍)



※会計基準：全てIFRS

第3四半期連結会計期間 好決算の要因

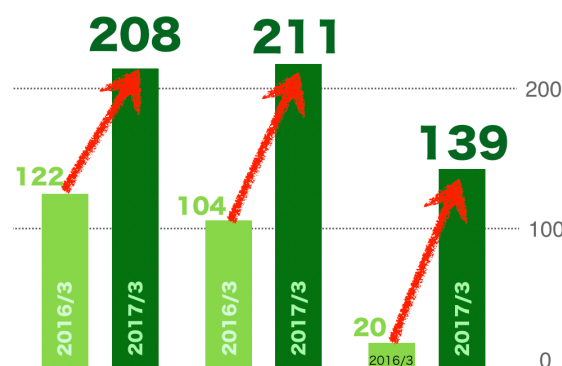
- ✓ 売上高 : **上場来最高**
- ✓ 営業利益 : **上場来最高** (初の2億円超)
- ✓ 当期利益 : **上場来最高** (初の1億円超)



売上高

売上増が顕著（2桁%以上増加）な項目

- ・ ASTERIAのサブスクリプション売上
- ・ ASTERIAを中心としたサポート売上
- ・ Handbookクラウド版の売上



利益

売上総利益率向上

(前年同期) 80.8%→**86.3%**

営業利益率向上

(前年同期) 10.8%→**17.7%**

製品別売上状況

■ 当第3四半期の製品毎の主な施策・状況と結果



ASTERIA

新バージョン「WARP 1610」出荷。
新ラインアップ「WARP “Core”」を出荷。

- ・売上高**972**百万円（前年同期比**104.6%**）
- ・ASTERIAの導入社数は、**5,928社**に伸長。



Handbook

VR技術を利用した360度画像・動画に対応。
流通業での営業担当者の電子カタログ利用が顕著。

- ・売上高**182**百万円（前年同期比**106.3%**）
- ・Handbookの導入件数は、**1,170件**に伸長。

その他

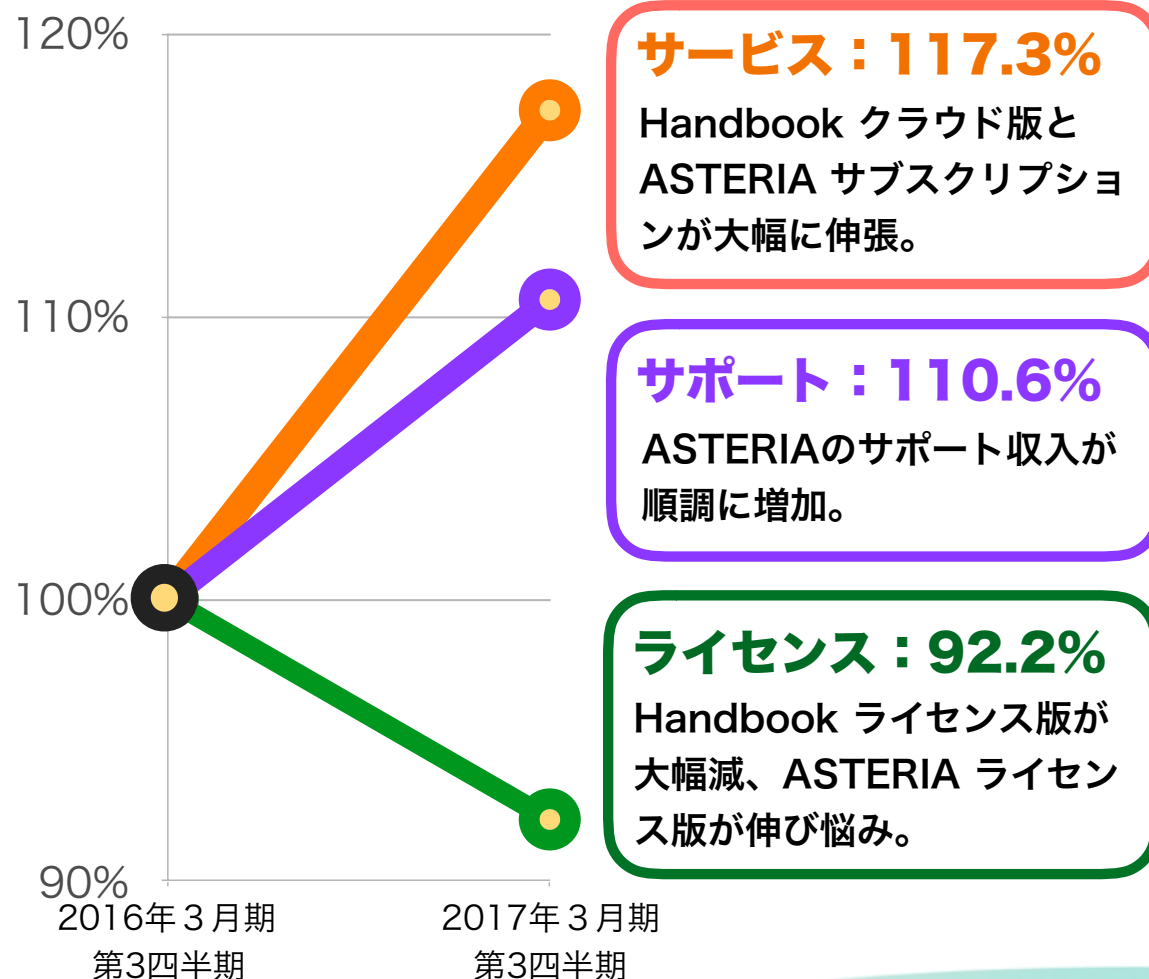
SnapCal, linoなどのパイロット型製品。
米国子会社の製品ExtenXLS。

- ・売上高**20**百万円（前年同期比**104.3%**）
- ・SnapCal, linoのユーザーは70%以上が海外。

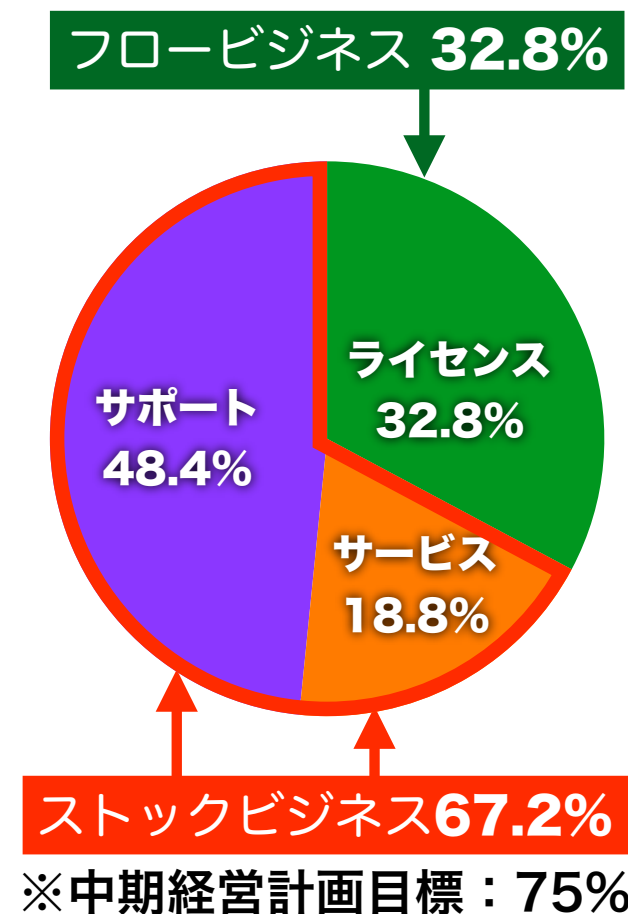
売上区分別状況

- クラウド化の進展でライセンスは前期割れも、サポート、サービスは2桁成長。
- 特にASTERIAサブスクリプション等は、前年同期比**259.7%**と大きく成長。

前年同期比



構成比



決算概要

**2017年3月期 第3四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)**

損益計算書

■ 売上高は前期比**104.8%**、売上総利益は前期比**112.0%**。

■ 当期純利益は**139百万円**。(IFRS)

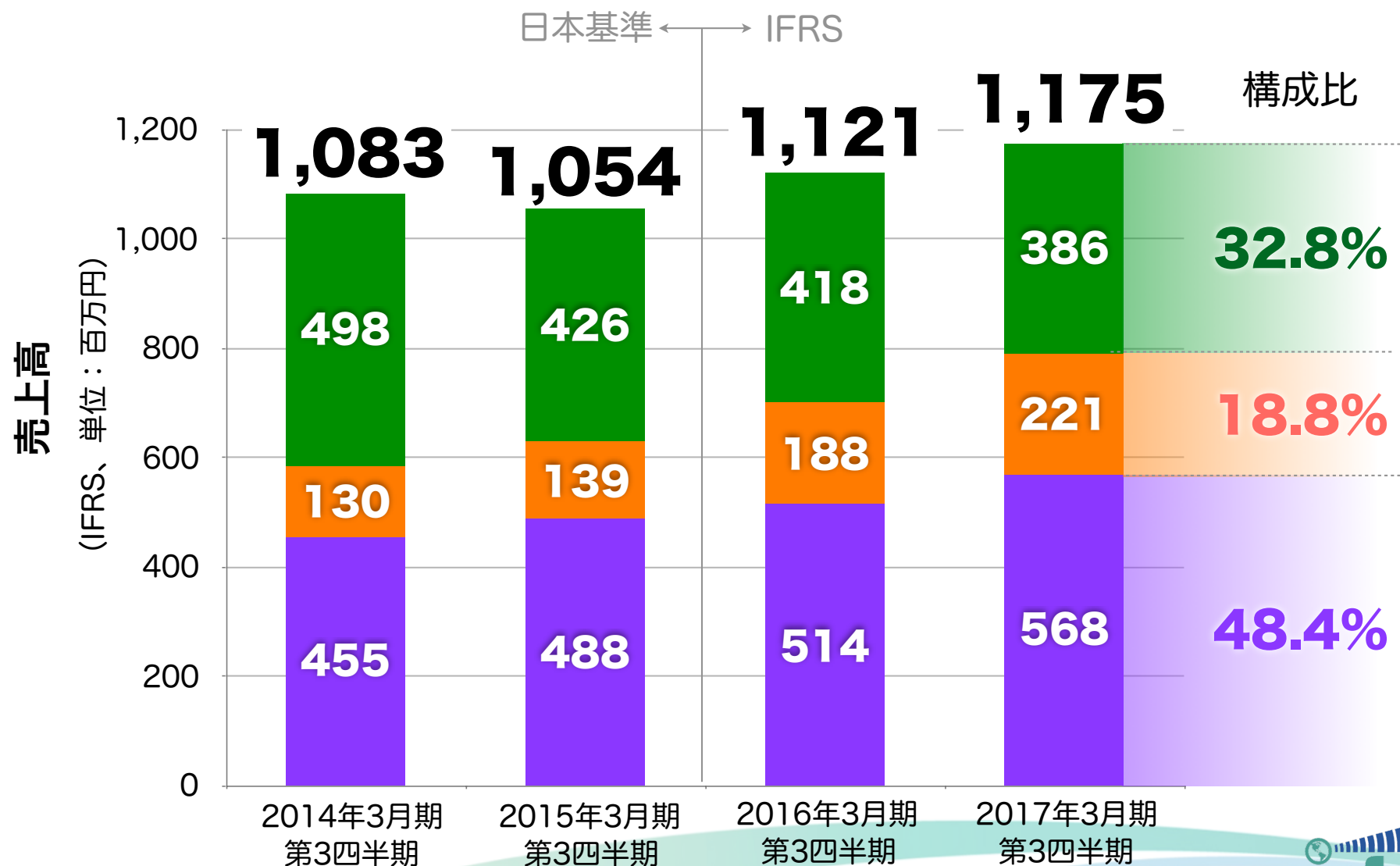
(単位：百万円)

	2014年3月期 第3四半期 (日本基準連結)	2015年3月期 第3四半期 (日本基準連結)	2016年3月期 第3四半期 (IFRS)	2017年3月期 第3四半期 (IFRS)	前年同期比
売上高	1,083	1,054	1,121	1,175	104.8%
売上総利益	916	873	906	1,014	112.0%
販売管理費	777	820	774	802	103.6%
営業利益	138	53	122	208	171.5%
税引前利益	144	56	104	211	202.0%
当期純利益	56	0	20	139	699.6%

売上高の内訳と推移

- スtockビジネスは、**67%超**を占める。
- サービス売上は大幅伸張し、約**19%**までに成長。

■ ライセンス
■ サービス
■ サポート

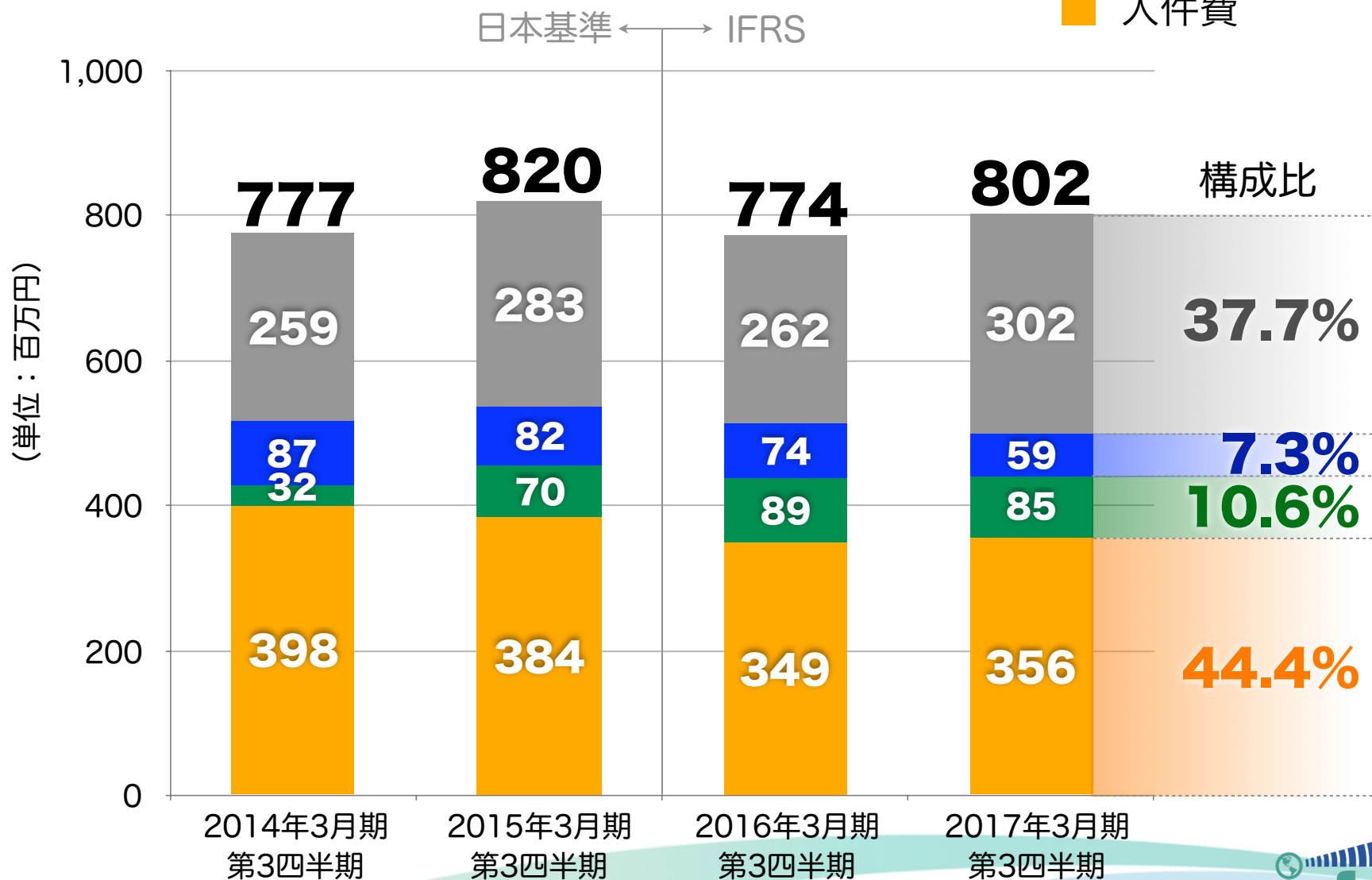


販売管理費の内訳と推移

■ 販売管理費は前年同期比で約**4%**増加。

■ 広宣・販促費が前年同期比で減少。

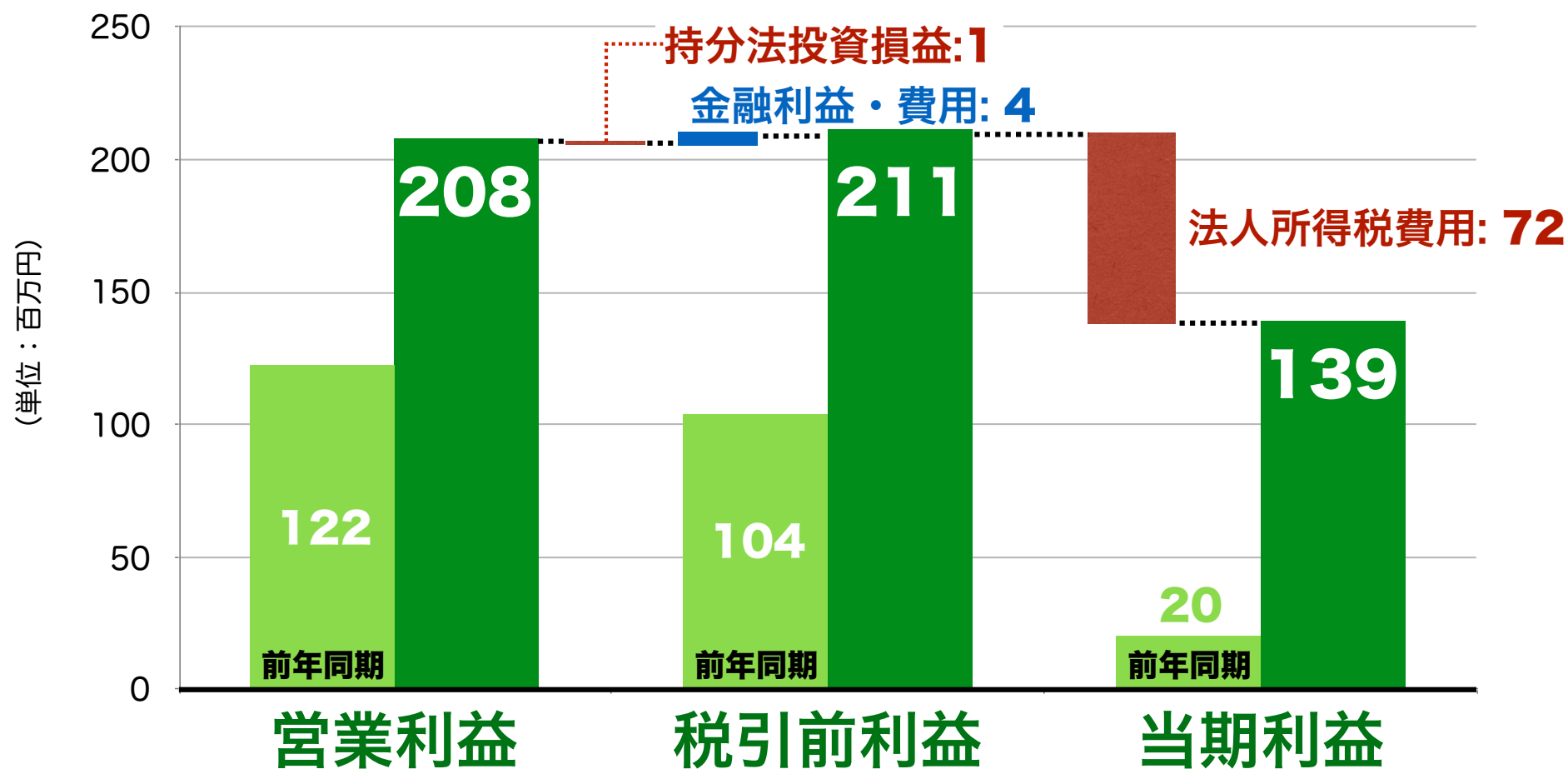
■ その他
■ 広宣・販促費
■ 研究開発費
■ 人件費



営業利益/税引前利益/当期利益

■ 営業利益は上場来最高。初の**200百万円**超え。

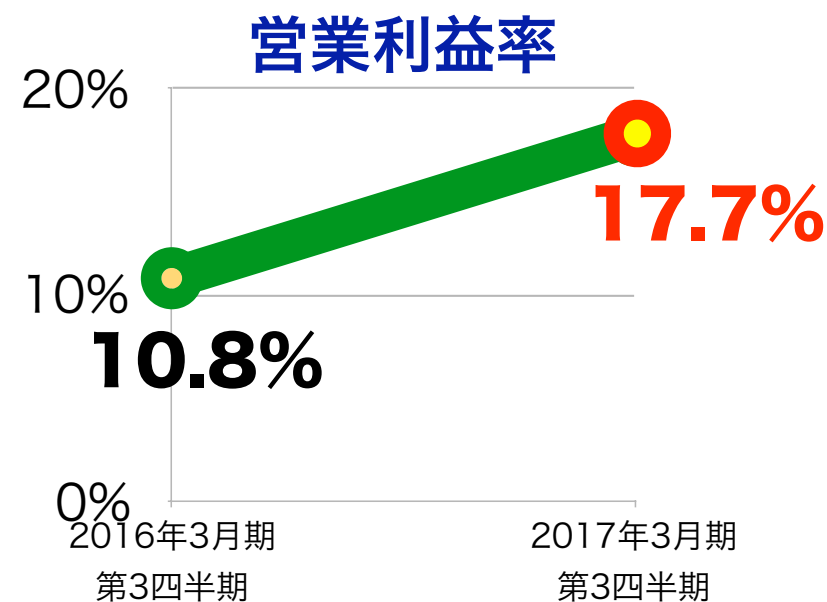
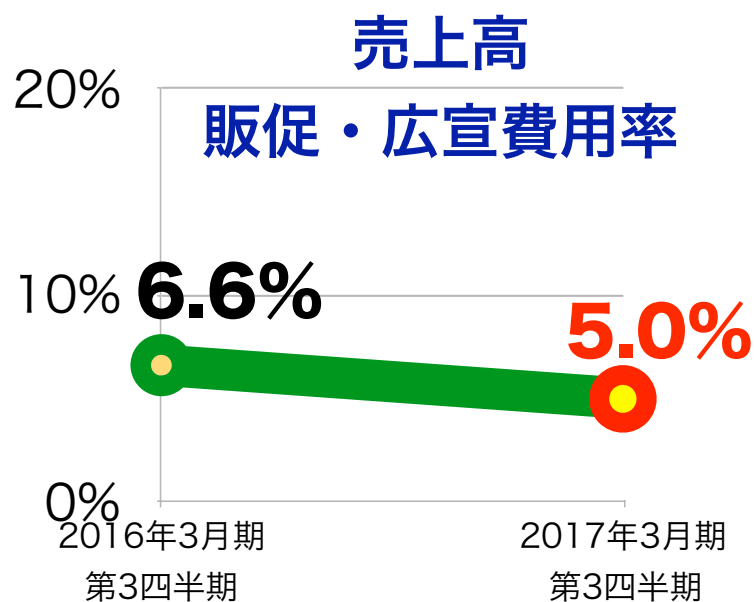
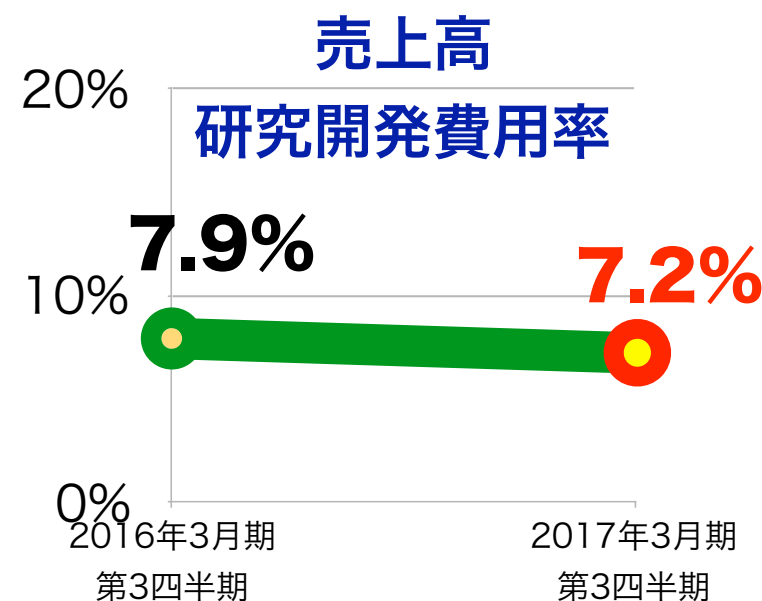
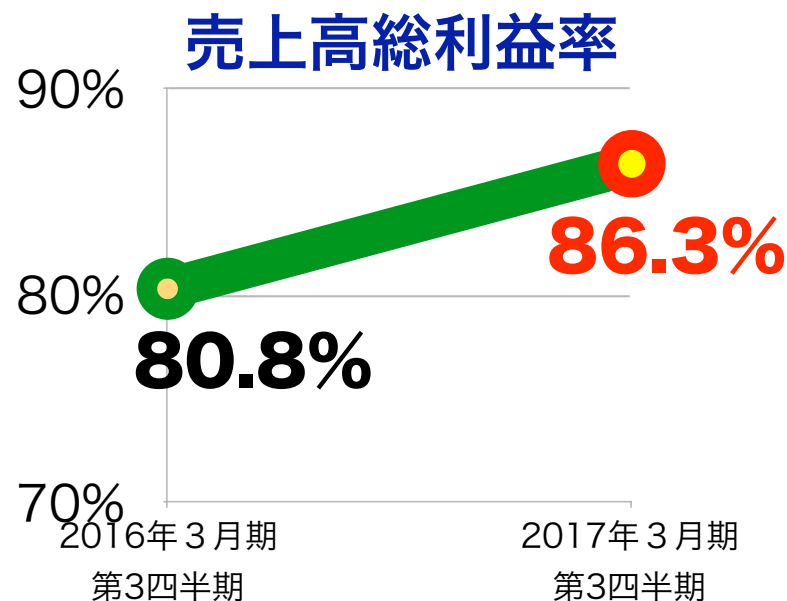
■ 当期利益は上場来最高。初の**100百万円**超え。



2017年3月期 第3四半期累計期間

※会計基準：全てIFRS

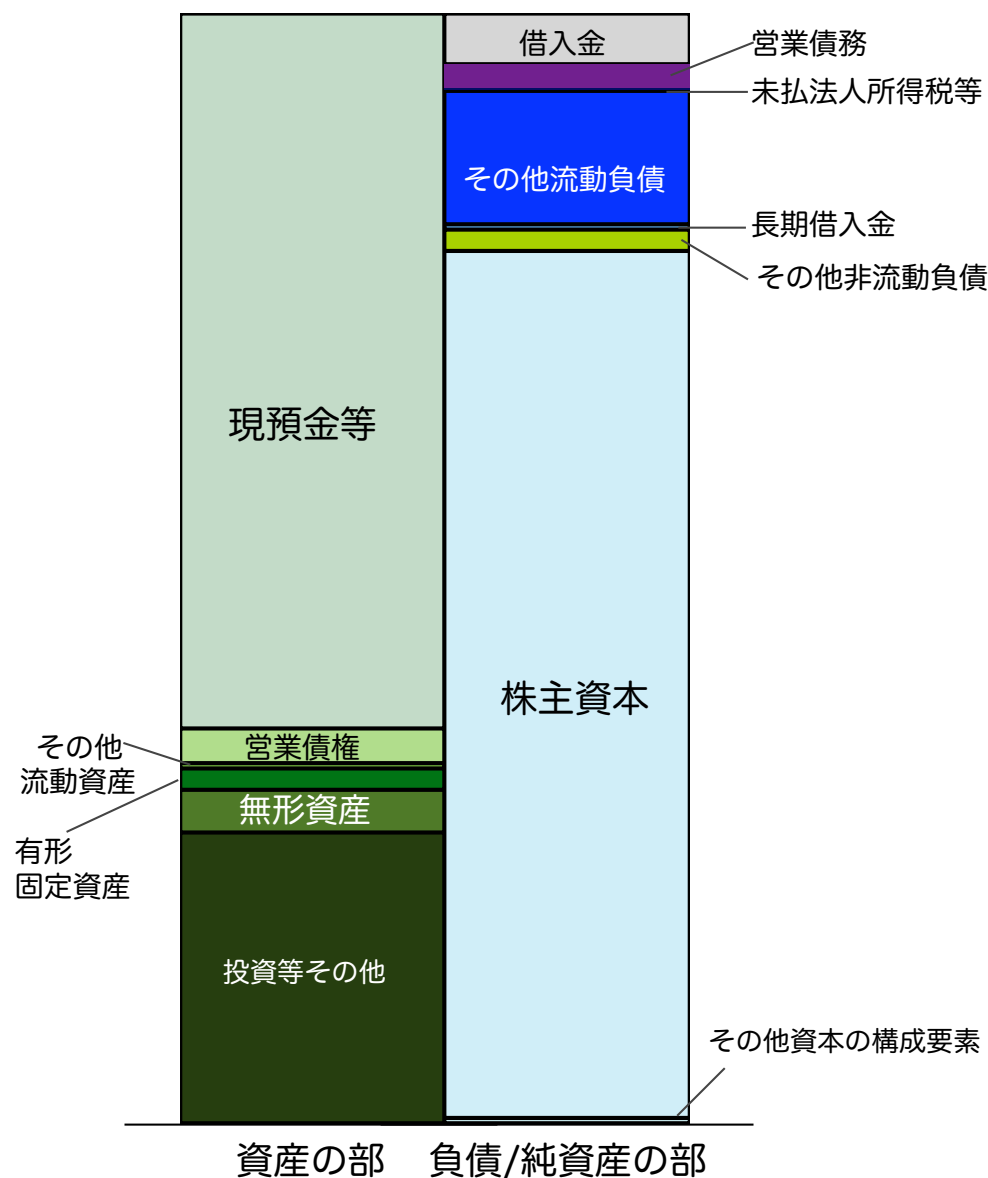
各指標の推移 (前年同期比)



財政状態計算書

■ 積極的投資に耐える、健全な財務体制。（自己資本比率**79%**）

	IFRS (単位：百万円)	2016年 9月30日	2016年 12月31日	増減
資産 の 部	現預金等	2,247	2,293	46
	営業債権	144	106	▲38
	その他流動資産	40	22	▲18
	有形固定資産	9	65	56
	無形資産	135	135	▲0
	投資等その他	986	937	▲49
	資産合計	3,561	3,558	▲3
負債 の 部	借入金	167	167	0
	営業債務	59	74	15
	未払法人所得税等	52	11	▲41
	その他流動負債	436	427	▲10
	長期借入金	33	17	▲16
	その他非流動負債	63	65	2
	負債合計	811	760	▲51
純 資 産 の 部	株主資本	2,725	2,775	50
	その他資本の構成要素	25	23	▲2
	純資産合計	2,750	2,798	48



キャッシュ・フロー計算書

■ 営業活動によるキャッシュ・フローは増加。

(単位：百万円)	2016年3月期 第3四半期 (IFRS)	2017年3月期 第3四半期 (IFRS)
営業活動による キャッシュ・フロー	175	263
投資活動による キャッシュ・フロー	▲311	▲526
財務活動による キャッシュ・フロー	▲94	▲85
現金及び現金同等物の 期末残高	1,704	1,493



2017年3月期 第3四半期 決算説明会

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

(証券コード：3853)

